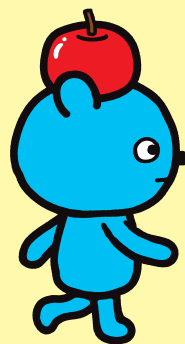


〈あおぎん〉 積立投信 サービス



インターネットでの
ご利用も可能です！



〈あおぎん〉の積立投信サービスは
定期的 (毎月・ボーナス時期) に
一定額 (3,000円～) の投資信託を
自動的に購入 できます！

プロが運用する「投資信託」を少額からご購入いただけます！

- 投資は金融資産を多くお持ちの方だけがするものではありません。あおぎんの積立投信サービスは、毎月3,000円からの少額投資を可能とします。
- 毎月の引き落としにすることで、面倒な注文手続きも必要ありません。
- 「長期」での資産形成を目指しているので、投資経験の少ない方でも「いつ買ったらいいのか?」「もうちょっと待つべきか」などの購入のタイミングで思い悩むことはありません。
- 投資信託は、投資に関する高度な知識や技術を持った運用のプロが、お客さまにかわって運用します。

毎月購入することで、時間分散によるリスク低減効果が期待 できます！

ドルコスト平均法により、平均購入単価を引き下げる効果も 期待できます！

- 安いときに買って高いときに売る。理想ではありますが、プロでもなかなかうまくできるものではありません。そこで、一定額を定期的に購入すると価格が安いときに多くを、価格が高いときに少しだけを購入できることから、平均購入単価を低く抑えることができるといわれています。

詳しくは中面および裏面をご覧ください。

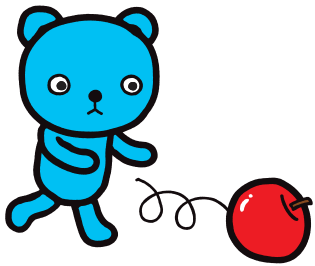
積立中に基準価額が変動したら…

Question

逆の値動きをする投資信託A・Bがあります。スタート時に一括で120万円を投資し、10年間運用した場合の結果は、Aは180万円、Bは60万円です。それぞれの投資信託に「月々1万円×12カ月×10年」(投資額合計120万円)で投資した場合、運用結果が高くなるのはA・Bどちらでしょうか(経費等は考慮しません)。

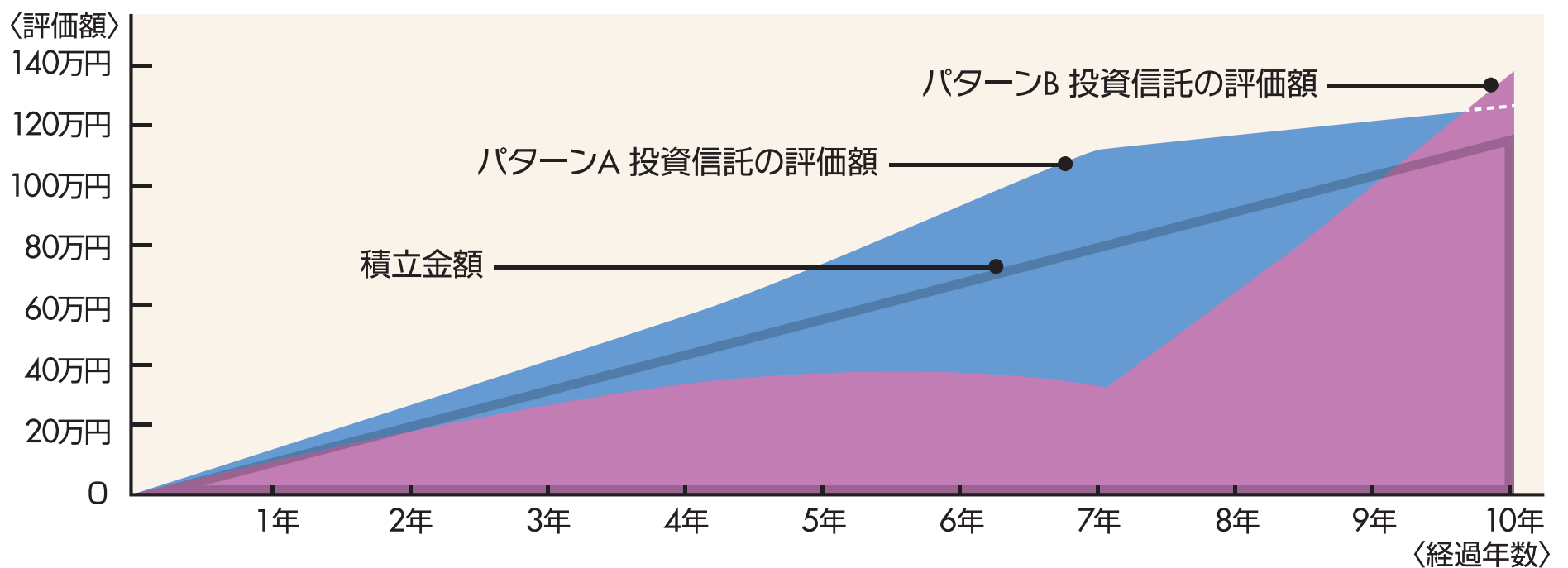
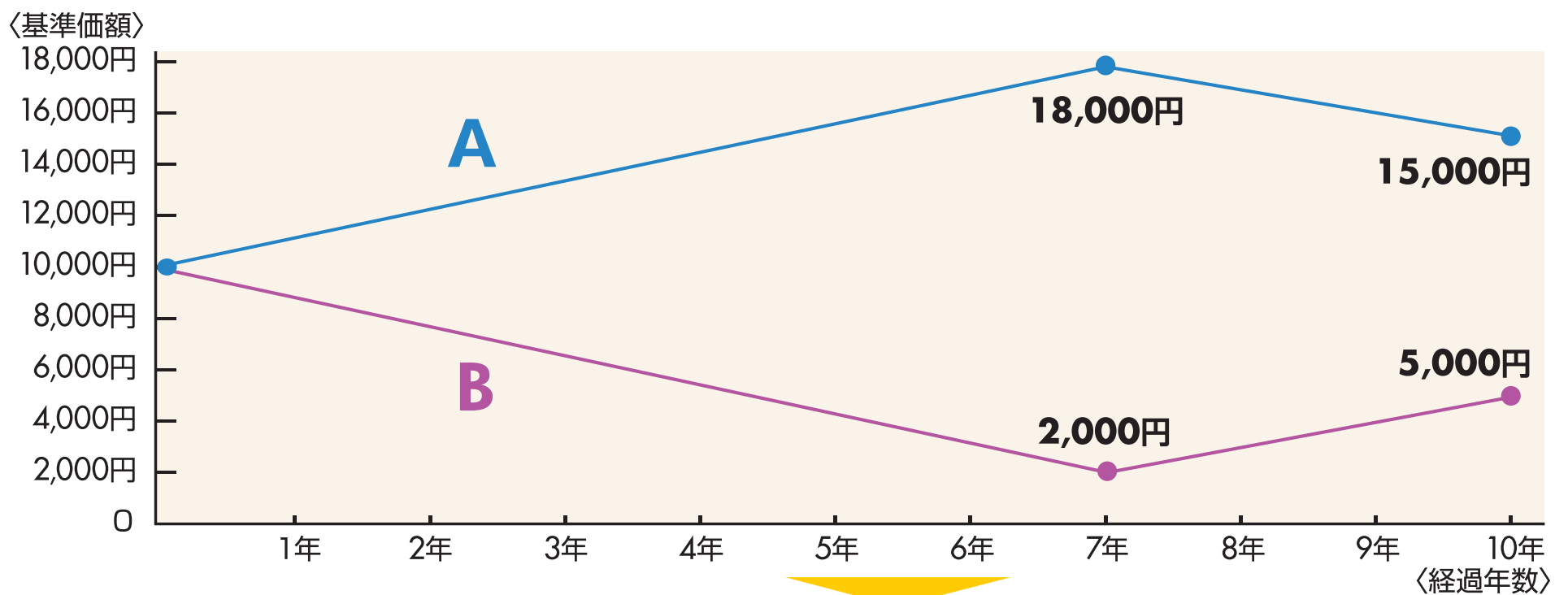
Answer

Aの運用結果…約126万円 (投資額の約105%) **Bの運用結果…約139万円 (投資額の約116%)**



【解説】

- スタート時と10年後の基準価額を比較すると、Aは1.5倍、Bは半分です。しかし、積立投資の場合はBの値動きの方が良い結果となっています。
- Bの値動きの場合は、基準価額が下がったときに多くの口数を購入でき、その後、基準価額が上昇したことでAの値動きの場合に比べて良い結果となっています。



積立投資のポイント

10年後にスタート時より値下がりしても、値上がりした場合より利益が出る場合もあります。

値上がり時は平均取得価額が上がってしまうので、その後値下がりすると投資信託の評価額も下がってしまいます。一方、値下がり時には平均取得価額も下がりますので、その後値上がりした場合に有利になる場合があります。

※上記の投資例は一例であり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。



まとめ

積立投資は値動きに一喜一憂することなく、
財産形成を行える投資方法です。

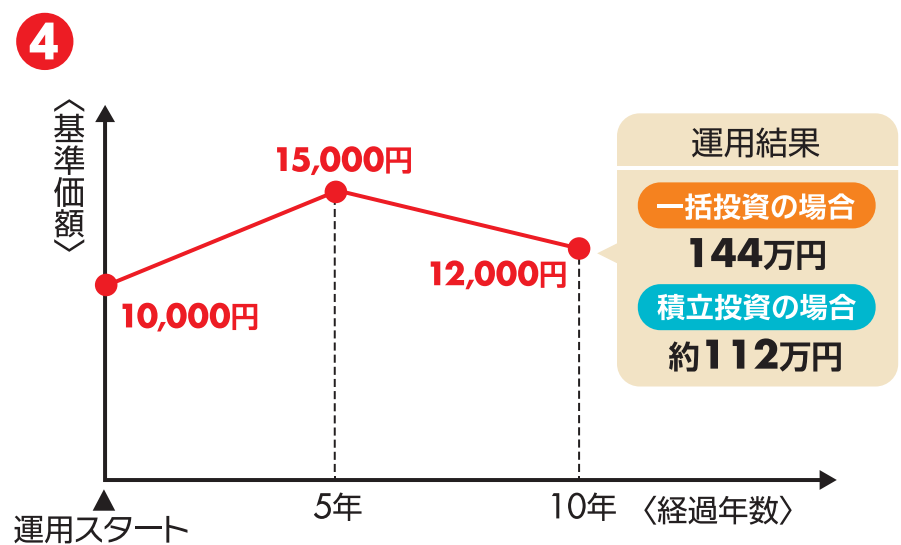
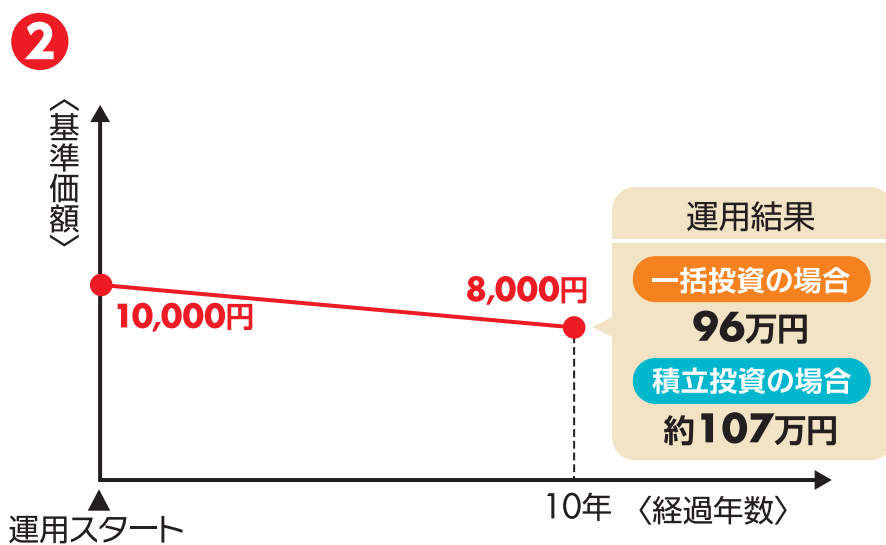
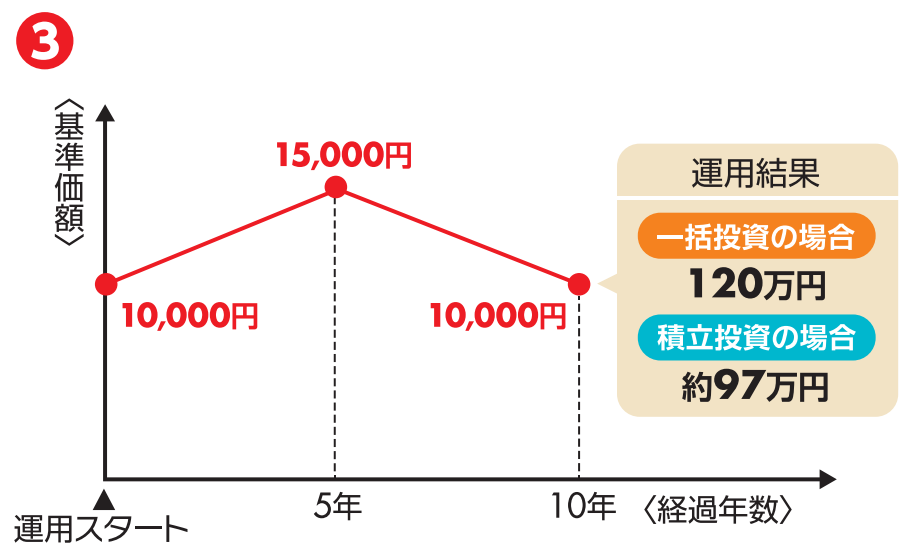
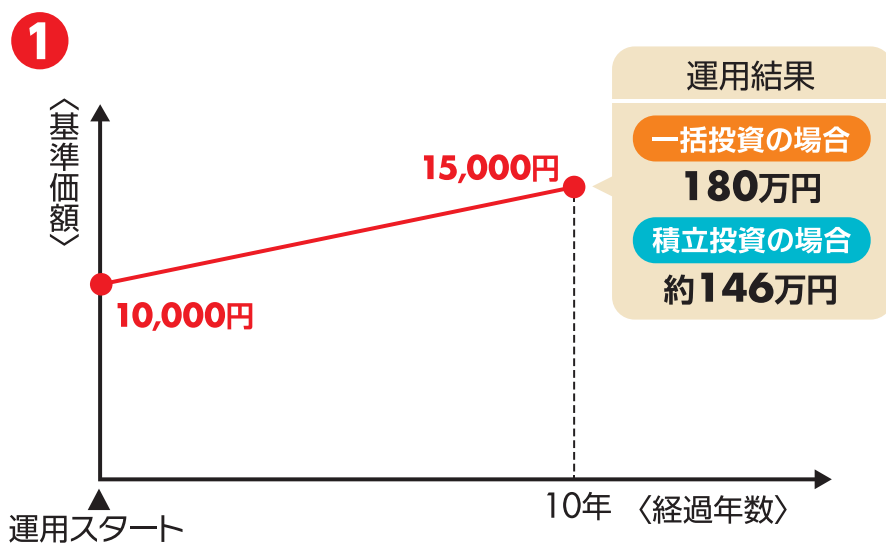
「一括投資」は一定の口数にまとめて投資し、値上がりをじっと待つ投資方法です。
一方、「積立投資」は口数を少しずつ増やしながら資産を育てていく投資方法です。両者を比較すると以下ようになります。

一括投資と 積立投資の比較	一括投資	積立投資 (定時定額投資)
価額の値下がり	資産の減少	資産の減少+口数の大幅な増加
価額の値上がり	資産の増加	資産の増加+口数の小幅な増加
投資のタイミング	非常に重要	あまり重要ではない

ご注意

値動きによっては「積立投資」よりも「一括投資」のほうが結果的に有利だったということもあります。
また、場合によっては、運用結果が、投資した元本を下回ってしまうケースもあるのでご注意ください。

例 一括投資は120万円を運用スタート時に投資、積立投資は月々1万円を10年間投資した場合

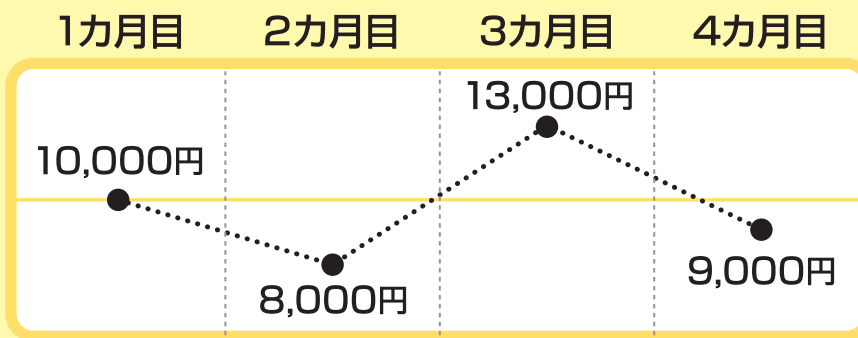


お客さまにあった資産形成を、あおぎんがお手伝いいたします。

●ドル・コスト平均法

投資信託の場合

基準価額の動き
(円/1万口)



毎月一定金額(1万円)ずつ
購入された場合
<ドル・コスト平均法>

1か月目	2か月目	3か月目	4か月目
10,000口 10,000円	12,500口 10,000円	7,692口 10,000円	11,111口 10,000円

<合計>

41,303口
40,000円
平均購入単価
9,684円

毎月一口数(1万口)ずつ
購入された場合

1か月目	2か月目	3か月目	4か月目
10,000口 10,000円	10,000口 8,000円	10,000口 13,000円	10,000口 9,000円

40,000口
40,000円
平均購入単価
10,000円

※上記はあくまで仮定であり、どのような状況でも有利に働く方法ではありません。
また、単純化のために極端な値動きで説明しております。

※上記はあくまでも一例であり、リスクの低減をお約束するものではありません。

また、必ずしも全てのお客さまに最適とは限りませんので、ご自身の投資目的等を勘案し、投資のご判断はお客さまご自身で行ってください。

お取扱基準について

最低購入金額	毎月 3,000円(1,000円単位)
購入申込日	11日または26日より選択(銀行休業日の場合は翌営業日)
口座振替日	購入指定日の前営業日
対象商品	累積投資型の全ファンド ※販売停止ファンドを除きます。
ボーナス時の購入	年2回まで購入金額を増額できます。
購入開始月	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">店頭の場合</div> 銘柄購入日の5営業日前の14:30までのお申込の場合は当月、それ以降は翌月から積立開始となります。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">インターネットの場合</div> 銘柄購入日の4営業日前の14:00までのお申込の場合は当月、それ以降は翌月から積立開始となります。 ※「銘柄購入日」とは、実際にご指定の銘柄を購入する日を指します。
その他	店頭でのお申込み以外にインターネット投資信託サービスでのご利用も可能ですが、購入時の販売手数料は店頭と同額となります(30%割引とはなりません)。なお、販売手数料がかからない商品もございます。 毎月購入の都度、取引報告書の作成、発送はいたしません。 お取引の内容は3か月ごとの「取引残高報告書」にてご確認ください。

投資信託についてご確認ください

◎投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象になりません。また、銀行で取り扱う投資信託は投資者保護基金の対象とはなりません。

◎投資信託は、元本および分配金が保証されている商品ではなく、市場環境により変動し、投資元本を割り込むことがあります。

◎投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入されたお客さまに帰属します。

◎投資信託は手数料などをお客さまにご負担いただけます。ご購入にあたっては、各商品の目論見書、投資信託説明書(交付目論見書)補完書面を十分ご確認ください。

(2018年12月)